

## 2005年度（平成17年度）第3回常務理事会記録

日時： 2005年6月11日（土） 13：15～14：45

場所： 東京大学医学部本館（2号館）地階セミナー室

出席者：廣川信隆（理事長）、河田光博、澤田元、柴田洋三郎、高田邦昭（以上、常務理事） 依藤宏（幹事）、天野恵子、合力靖博（以上、口腔保健協会）

### I. 会議記録の確認

1. 2005年度（平成17年度）第2回常務理事会記録、同摘録（案）
2. 2005年度（平成17年度）第2回理事会記録、同議事録、同摘録（案）
3. 2005年度（平成17年度）総会・学術評議員会記録、同議事録、同摘録（案）
4. 2005年度（平成17年度）第3回理事会記録、同議事録、同摘録（案）

### II. 報告事項

#### 1. 庶務報告（高田庶務担当理事）

##### （1）会員異動報告（正会員 2201名 平成17年5月末日現在）

平成17年3月分（入会者 正会員5名、学生2名、退会者 正会員7名、学生3名、名誉2名）、平成17年4月分（入会者 正会員9名、学生4名、退会者 正会員5名、名誉2名）、平成17年5月分（入会者 正会員5名、学生1名、退会者 正会員1名、名誉1名）

##### 逝去会員

藤江君夫氏（和歌山県立医科大学名誉教授／名誉会員、平成17年3月6日逝去、享年82才）

高島庸一郎氏（愛媛大学名誉教授／名誉会員、平成17年3月20日逝去、享年73才）

石川堯雄氏（鶴見大学名誉教授／名誉会員、平成17年3月28日逝去、享年88才）

内藤芳篤氏（長崎大学名誉教授／名誉会員、平成17年4月21日逝去、享年79才）

久保田くら氏（東京女子医科大学名誉教授／名誉会員、平成17年5月16日逝去、享年90才）

##### （2）機関別認証評価に係わる専門委員候補者推薦依頼

独立行政法人大学評価・学位授与機構より標記の推薦依頼があったが、締め切りまでの時間が短かったため、理事を中心に女性を加え、研究分野等のバランスも取って案を作成、提出したことが報告された。

(3) 総会・全国学術集会開催校募集

2008年度（平成20年度）、2009年度（平成21年度）の総会・全国学術集会開催校募集案内を解剖学雑誌に掲載したことが報告された。

(4) 解剖実習における化学物質過敏症対策に関して

その後の経過報告がおこなわれた。

(5) 文科省よりの「公益法人の業務等の適正な運営について（通知）」について

文科省より標記の通知が届いた。この通知に基づき、今後整備すべき規程、書類等を整えることが報告された。

(6) 日本学術会議解剖学研連

改組後に予定される「分野別委員会」「課題別委員会」に対し、研連委員に具体的「課題」の提案をしてほしい旨の連絡があったこと。また、平成17年3月29日の連絡委員会で第21回形態科学シンポジウムを9月17日名古屋大学で開催するとともに、今後もこのシンポジウムを継続するよう関連学会に要望してゆくこと等の報告がなされた。

(7) 平成17年度支部学術集会開催日程

標記について報告がおこなわれた。

(8) 日本解剖学会ホームページについて

日本学会事務センター倒産により、辰巳治之情報技術委員会委員長の下で仮運用されていた解剖学会ホームページの口腔保健協会への引き継ぎが終わり、口腔保健協会の下で管理されることになった。

(9) 学会宛文書等

① 通知、依頼：i) 日本医師会より「平成17年度日本医師会医学賞ならびに日本医師会医学研究助成費候補の推薦について」ii) 文部科学省より「政府税制調査会の動向について（公益法人制度改革関連）」他3件、iii) 日本学術振興会より「第2回日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について（通知）」、他14箇所より18件の通知・依頼が届いている。

② 書籍、定期通信他：日本医学会より「日本医学会だよりNo.33」他、4箇所5件の定期通信、書籍が届いている。

- (10) その他 理事長より 全国国立医学部長、病院長会議において卒後研修の義務化がとりあげられ、基礎研究者の養成、大学のあり方にとって大きな問題であるとのことから、廃止を含めて厚生労働省に再検討を申し入れたとの発言があった。

## 2. 編集報告 (柴田編集担当理事)

- (1) 解剖学雑誌及び ASI 刊行報告  
両誌の第 80 巻 2 号が順調に発行されたことが報告された。
- (2) 平成 17 年度科研費補助金の交付内定及び決定報告  
標記につき報告がおこなわれた。なお、交付額は 4,900,000 円である。
- (3) その他  
メディカルオンライン：加入について前向きに検討するとされた。

## 3. 企画・渉外報告 (河田企画・渉外担当理事)

- (1) 平成 17 年度奨励賞および解剖組織技術士功労賞の募集  
標記の公募を解剖誌に掲載したことが報告された。
- (2) 平成 17 年度一級技術士資格試験  
標記試験が 9 月 17 日鶴見大学歯学部において実施予定であることが報告された。
- (3) 「動物の輸入届出制度」に関する要望書  
平成 17 年 9 月から導入が予定されている「動物の届出制度」について、解剖学会を含む 14 学会で提出した要望書に対するその後の動向について報告がおこなわれた。
- (4) 第 110 回日本解剖学会総会・全国学術集会参加についての御礼  
標記について大谷修会頭より御礼の文書が届いた事が報告された。
- (5) 第 4 回 APICA について  
9 月にトルコで開催予定の第 4 回 APICA について、準備状況の報告がおこなわれた。
- (6) 2006 年日米解剖学合同シンポジウム  
米国解剖学会より 2006 年 4 月 1-5 日にサンフランシスコにおいて開催される Experimental Biology Meeting の再生医学のシンポジウムに 2 名の演者を招待する旨、連絡があった。これを受け、人選を海外交流委員会 (委員長 野条良彰福井医大教授) に依頼したことが報告された。
- (7) 第 27 回日本医学会総会学術プログラムに関するアンケート  
標記アンケートが届き、その回答は学術委員会 (委員長 妹尾春樹秋田大教授) に作成を依頼することになった。

(8) 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病の診断および二次感染の防止に係わる留意事項等の周知について（依頼）

厚生労働省より標記の依頼が届いた。内容は二次感染防止のため、献血に際して欧州滞在歴を有する者の採血を見合わせる事などである。

#### 4. 会計報告（澤田会計担当理事）

##### (1) 平成17年中間決算報告

標記につき報告がおこなわれた。

### III. 審議事項

#### 1. 教授就任による学術評議員申請書

標記申請書案が提示され、一部修正の上、承認された。

#### 2. 倫理委員会の設置

篤志献体による遺体の臨床研修等における利用の拡大に対応するため、倫理委員会を設置することが審議、承認された。委員構成は以下の通り。河野邦雄（筑波大名誉教授、委員長）、吉田重光（北大歯学部）、中野 隆（愛知医大）、諏訪文彦（大阪歯大）、青山裕彦（広島大）、岡部繁雄（医科歯科大）、菊田彰夫（産業医大）。

#### 3. 個人情報保護法への対応

学会として個人情報取扱等の内規を早急に整備する必要があるため、早急に案を作成することが合意された。

#### 4. 追悼文執筆依頼

逝去の名誉会員の方々への追悼文の執筆依頼先について審議がおこなわれた。

#### 5. Inter-Library Loan（図書館間貸借）に関する権利委託契約に関する依頼

学術著作権協会より標記の権利委託の依頼があったが、しばらく状況をみることにした。

#### 6. 公益法人の税制に関する調査

文科省研究振興局学術研究助成課より、政府税制調査会で論議されている非営利特定法人に対する課税についての意見聴取の調査票が届いた。これに対し、「会員からの会費収入が主な収入源の公益事業であること。会費収入にも課税されると学会活動に重大な支障をきたす」等の意見で回答することが了承された。

#### 7. その他

日本生理学会より2007年度（平成19年度）全国学術集会における共同開催の提案があり、現在会頭の遠山正彌大阪大教授に意向を問い合わせ中であることが報告された。なお、この共同開催は機会があれば今後、推進すべき方向であるとされた。